



# NST便り・春号



平成23年3月発行・仙台厚生病院NST委員会  
編集担当：8階橋本、10階高橋、集中治療室佐藤、検査部堀江、栄養課阿部

## 経腸栄養剤 新規採用

メイバランスR GREEN  
入りました！



メイバランスR GREEN



メディエフバック

経腸栄養剤でよく使われているものにメディエフバックがあるかと思えます。メディエフバックは1袋のカロリーが300kcal、水分が300mlです。メディエフバックを朝・昼・夕と使用して、必要なカロリーが摂取できても必要な水分量が確保できず、栄養剤の他に白湯を後から追加で投与することがあります。

新しく入った**メイバランスRはカロリーは300kcalで水分量が447mlとメディエフバックと同じカロリーで水分が約150ml多い**ものです。なので、メイバランスRを使用すると、それだけで必要なカロリーと水分量が摂取できることとなります。そのため栄養剤投与後の白湯の後入れが無くなります。さらに、袋を開けて白湯を入れることがないので、細菌繁殖のリスクも減ります。実際に使用してみた看護師に聞いてみると5分くらいの時間短縮ができて楽！！という意見がきかれました。1回5分が1日3回1日15分の時間短縮へつながります。

忙しい私達にとって  
メイバランスRは  
ステキな見方！



主治医へ相談してみてください。  
オーダーリングに入ってます  
不明点はNSTへ相談してください。



手間が減って  
楽になった

## 「ハーフ食」開始しました！

- ・化学療法中ではないが、**術後などで食欲がない患者さん用**の食事です。
- ・通常の食事の量を半分量にし、代わりに高栄養食品を1品付加しています。

### オーダー方法

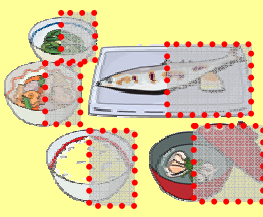
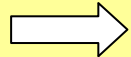
通常通り、MIRAIsの食事画面から患者さんに合わせた食事をオーダーする。

ハーフ食としてオーダーはできません。

### NSTへ介入依頼をする

介入依頼方法は、通常通り。伝達事項の件名は「ハーフ食依頼」、宛先は「栄養士」としてください。休日は栄養管理課まで直接電話で依頼して下さい。)

栄養管理課で個別にハーフ食対応とします。



全て半分量で提供



高栄養食品  
毎食1品付加

# 第3回地域連携NSTセミナー開催しました

平成23年3月10日(水)熊谷・海老名ホールにて

セミナー 「最新の経腸栄養剤について」管理栄養士：中嶋香織

セミナー 「簡易懸濁法による薬剤投与」NST専門療法士、薬剤師：武田知明

簡易懸濁法の実演

今回はリンクナースからの実技指導もありました！



## NSTメンバー、学会で発表！！

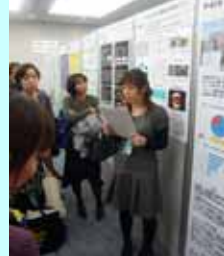
第26回 日本静脈経腸栄養学会 in 名古屋国際会議場



中堀消化器内科部長  
「NST導入の経緯について」  
「PEG術後早期における半固形化栄養剤の有用性の検討」



9階看護師阿部由紀子  
「PEG術後に半固形化栄養剤がもたらす有用性についての検討」



6階看護師佐藤真希  
「嚥下食の導入について」



準備は1年位前から始まり大変で発表も緊張したけど、達成感は最高でした。また、全国各地の施設の発表が聞いているいろいろなNSTの取り組みなどを知る機会ともなりました。研究に協力してくれた皆さん本当にありがとうございました。興味のある方は来年度一緒に研究・発表しましょう！

ちなみに来年は神戸で開催予定です！

## プレアルブミンとアルブミン

栄養評価のために数項目かの生化学・血液検査を行っています。アルブミンとプレアルブミンを測定することで分かることをお話したいと思います。

**アルブミン** 血中半減期が21日と長い  
蛋白質摂取量が減少しても低下しない → 長期的な栄養状態を把握できる

**プレアルブミン** 血中半減期が1.9日と短い  
蛋白質の摂取不足で著しく減少  
栄養を補充すると速やかに上昇 → 短期的な栄養状態を把握できる  
現在行っている栄養管理の効果を評価するのに適している！

### 2つの項目を測定してできる栄養スクリーニング

	アルブミン正常	アルブミン低値異常
プレアルブミン 正常	低リスク群 栄養状態は良好	栄養障害からの 回復期
プレアルブミン 低値異常	中リスク群 短期的な栄養状態が悪い	高リスク群 積極的栄養ケア